

専門基礎分野 授業計画

授業科目及び時間数	微生物学 1単位 30時間	
開講時期	1年次後期	
担当教員	三宅正紀	
<p>科目のねらい・到達目標</p> <p><科目のねらい></p> <p>病原微生物及び感染症に関する十分な知識を身につけ、看護実践における感染症の予防と治療に関して指導的な役割を担えるようになる。</p> <p><到達目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な感染症の原因病原体及び病原因子、発症機構、予防・診断・治療法を説明できる。 ・生体防御免疫について説明できる。 ・様々な滅菌・消毒法の性質・適用を理解し、実践できる。 		
授業計画・内容・担当教員		
1回目	微生物学の概要及び歴史	講義
2回目	細菌の性質（構造を含む）	講義
3回目	真菌・原虫・ウイルスの性質	講義
4回目	感染と感染症	講義
5回目	感染に対する生体防御機構 / 自然免疫	講義
6回目	感染に対する生体防御機構 / 獲得免疫	講義
7回目	感染源・感染経路からみた感染症	講義
8回目	感染症の予防（滅菌と消毒を含む）	講義
9回目	感染症の診断・治療	講義
10回目	感染症の現状と対策（院内感染を含む）	講義
11回目	病原細菌と細菌感染症（1）	講義
12回目	病原細菌と細菌感染症（2）	講義
13回目	ウイルスとウイルス感染症（1）	講義
14回目	ウイルスとウイルス感染症（2）	講義
15回目	病原真菌と真菌感染症、病原原虫と原虫感染症/ 終了試験	講義・試験
評価方法	筆記試験 90%、出席状況・授業態度・課題レポート 10%	
受講生に対するメッセージ	習得すべき内容が多い科目であるが、講義では日常生活、医療現場等での具体的な事例を挙げながら、なるべくわかりやすく解説するので、教科書の内容と照らし合わせてよく復習し、効率的な学習をすることを心掛けてほしい。	
テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進④ 微生物学（医学書院）	
参考書	わかる！身につく！病原体・感染・免疫 改訂3版（南山堂） ナーシング・グラフィカ 疾病の成り立ち③ 臨床微生物・医動物（メディカ出版） 栄養科学イラストレイテッド 微生物学（羊土社）	